

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
外傷学											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	本澤光則、瀧下晃洋			実務 経験	有	職種	柔道整復師（接骨院、整形外科にて勤務経験あり）				
授業概要											
外傷と、その対応策および予防策を学ぶ。											
到達目標											
認定実技審査にて必要な知識とともに最終学年として必要な知識を習得することが重要である。発生機序、合併症、整復法、固定法、後療法を整理して習得する。後療法は他の授業であるが、それとは異なる視点から損傷部位を理解し、修復過程を考慮し柔道整復師の真髄である組織再損傷をしない強度での運動療法を基礎を身につける事が到達目標である。											
授業方法											
最終学年までに学んだ顎関節、肩鎖関節～肘関節～手指。股関節～膝関節～足指までの治療法（整復・固定・後療法）を具体的に学び実践する。											
成績評価方法											
試験・課題等を総合的に評価する。											
履修上の注意											
必要に応じて前年度のノートも必要となる。原則的には復習となるので知識の整理を意識することが肝要である。											
教科書教材											
教科書（柔道整復学・理論編公益社団法人全国柔道整復学校協会 監修一 ）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	外傷（柔道整復術）総論										
第2回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）①										
第3回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）②										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
外傷学	
第4回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）③
第5回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）④
第6回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑤
第7回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑥
第8回	前半振り返り
第9回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑦
第10回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑧
第11回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑨
第12回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑩
第13回	柔道整復学（体幹・上肢・下肢）⑪
第14回	後半振り返り
第15回	まとめ